

## 第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

令和3年11月26日（金）

場 所 多目的ホール

授業者 岸 裕貴

1. 単元名 ミッション イズ ポッシブル ～課題解決型職場体験から自己の生き方を考えよう～

### 2. 単元目標

海士町の事業所での課題解決型職場体験を通して、地域で働く人の思いや価値観についての理解を深め、働くことの意味を自分との関わりで考えるとともに、学んだことを今後の学習や自己の生活に生かすことができるようにする。

### 3. 単元の評価規準

観点	Ⅰ 知識・技能	Ⅱ 思考・判断・表現	Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	① 地域で働いている人の思いや多様な価値観に気づけている。 ② 必要な情報を適切な手段や相応しい関わり方で集めている。 ③ 働くことについての理解を深める学習が自分の今後の生き方に深く関わっていることを理解している。	① 自分たちを取り巻く地域社会に目を向け、活動の意図や目的を明確にして問題を解決するために課題を設定している。 ② 目的に応じて手段を選択し、必要な情報を取捨選択しながら収集している。 ③ 収集した情報を関連づけて整理し、その情報の中から関係性を把握し、特徴を見つけている。 ④ 分析したことをもとに、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	① 自分の良さを理解し、他者からの意見も尊重しながら活動しようとしている。 ② 自分たちで設定した目標に向かい、協力して課題の解決に取り組もうとしている。 ③ 社会の一員として自分にできることを考え、自己のより良い在り方について模索しようとしている。

### 4. 教材について

本単元は、海士町内にある事業所が抱えている課題（ミッション）を解決するための探究的な学習を通して、生徒が地域社会と関わり、働くことの意味や自己の生き方についての考えを深めることを目的としている。生徒が将来社会に出て働く際、目の前の課題に向き合い、よりよい解決策を目指し他者と協働して働くことが必要になる。各事業所からのミッションの解決を目指した探究活動を通して、生徒は働くことや自己の生き方についての考えを深め、それによって自分のこれからの生活や将来についての考えがより明確で具体的なものになってくると考える。

3日間の職場体験期間は、ミッションの解決に向けて活動してきた成果を発表する場であり、各事業所での具体的な体験を通して働く理由を見つける場でもある。職場体験活動後には、ミッション解決に向けての活動の振り返りを事業所の方とともに行うことで、より大きな達成感を得ることができると考える。また、各自が体験をもとに考えた「働く理由」を交流することで、働くことについての理解がさらに深まったり広がったりして、自己のキャリア形成につながることを期待できる。

## 5. 生徒の実態

・・・個人情報保護のため省略・・・

## 6. 指導について

### (1) 単元における指導の留意点について

本単元の指導にあたり、生徒が課題解決に向けて主体的に活動できるような支援を適宜行っていく。まず、体験先の事業所については、生徒が将来就きたい職業や興味のある分野をもとに選択させるようにする。また、体験先の事業所が抱える課題を「ミッション」として提示することで、生徒の社会参画への意欲や解決に向けての当事者意識を高める。課題解決の過程では、事業所の方との協働的な学習の機会を定期的に設定する。課題解決に向けての取り組みの成果については、生徒自身による自己評価の後に事業所の方との振り返りの時間を設け、評価をしていただくことで、自分に身についた力や今後の課題をより具体的に把握できるようにする。また、事業所で実際に働いたり、そこで働く大人と関わったりする中で見つけた「働く理由」を他の生徒と交流することで、働くことについての理解をさらに広げたり深めたりしていきたい。そうすることで生徒一人ひとりが「働くこと」に対する考え方や、「こうありたい」という姿をより具体的に描き、キャリア形成につなげていけるようにしたい。さらに、単元のまとめの発表後に再度、事業所の方と対話をする機会を作り、学習の成果を確認するとともに自己の将来の生き方についての志を確かなものにし、今後の生活につなげていきたい。

### ア 課題設定の工夫

海士町にある事業所から出されたミッションについてどのようなことを知れば達成に近づくか考える。その際、知りたいことを挙げたり、それに優先順位をつけたりすることでその後の探究のサイクルを回しやすくする。

### イ 情報収集の工夫

アンケートやインタビューなど目的に応じて手段を選択し、課題解決のために必要な情報を集めることができるよう指導する。収集した情報はいつでも見返せるように iPad にそれぞれの生徒が保管できるようにする。

### ウ 整理・分析の工夫

アンケートやインタビューなどで集めた情報を比較・分類して整理したり、複数の情報の関連付けによる分析をしたりするなど、情報を活用して思考できる活動を取り入れる。iPad で整理した情報を共有できるようにする。

### エ 評価の工夫

5つの事業所ごとに担当教員がつき、生徒を評価する。生徒が作成した資料は iPad に保管し、それをもとにポートフォリオ評価をしていく。また、ワークシートも活用し、生徒の学びを可視化できるよ

うに工夫する。職場体験の後には生徒が自己評価する場面を作り、活動を通して、身についた力を自ら確認できるようにする。また、事業所の方からの客観的な評価も取り入れることでより明確な評価にする。

#### オ まとめ・表現の工夫

課題解決型職場体験を進めたことで何を学び、その学びを今後どのように生かしていくのかを明確にした上で発表するために、自己の振り返りや事業所の方との振り返りを複数回行う。

### (2) 校内研究主題との関連

本校では研究主題を「学力向上とグローバル人材の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～」とし、研究を行っている。本研究では「主体的な学び」を「生徒が見通しをもって粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる学び」ととらえ、単元およびすべての授業の初めに「見通しを持つ場面」、終わりに「振り返る場面」を設定している。また、授業の展開には「探究する場面」を設定し、課題解決のための時間を保障している。グループでの「対話」を通して、自己の考えを広げ深めることにより、「深い学び」の実現を目指す。

### (3) 本時の学習

前時では同じ事業所に行った生徒同士が、どのような体験を通して「働く理由」を見つけたのか共有し合い、ワークシートにまとめる活動を行っている。

本時は、前時でまとめたことを他の事業所に共有することで、働くことについての理解を広めたり、深めたりする場面である。

本時に大切にしたい学習活動は職場体験中に見つけた「働く理由」を異なる事業所同士で共有することと、それをもとに自分の体験から働く理由を再発見することである。

これらの活動が充実したものになるために、異なる事業所同士が働く理由を共有する時は、どのような体験をもとにその働く理由を見つけたのか、納得いくまで質問し続けるように伝え、活発な対話が生まれるようにする。その後、同じ事業所同士の班で自分たちの体験から働く理由を再発見する時は、共有したことをそのまま抜き出すのではなく、そこから得た視点や考えをもとにしても良いことを伝え、多様な意見や考えを出しやすくする。

7. 単元の展開と評価計画

時	ねらい・学習活動	評価 観点	評価 方法
1	1. オリエンテーション、ねらいの確認。 ・なぜ課題解決型職場体験学習を行うか理解する。 ・自分の就きたい職業や興味関心がある分野をもとに体験先の事業所を決定する。		発言  ワークシート
6	2. 探究活動に入る前の事前学習 ・事業所見学を行い、仕事をしている様子を知るとともに気になることを記録する。 ・気になったことや知りたいことについて事業所の方にインタビューを行い、事業所やその仕事内容について詳しくなる。	I-① I-②	発言  ポートフォリオ
2	3. ミッションについて知る。 ・各事業所から事業所が抱える課題を解決してほしいミッションとして提示してもらう。 ・ミッションの背景を聞いたり、質問をしたりして、探究活動ができるようにする。	I-②	発言  ポートフォリオ
16	4. 探究活動 ・課題解決に向けて調べたいことを挙げ、調べる順序や手段などの計画を立て、見通しをもつ。 ・必要に応じてアンケートやインタビューなどを行い、課題解決のための情報を集め、収集した情報を iPad に記録する。 ・集めた情報を整理したり、分析したりするなど、情報を活用しミッションの解決に向かう。 ・事業所の方からフィードバックをもらい、解決に向けての方向性や計画を見直す。 ・探究活動を班員と意見を出し合い、協力しながら行う。	I-② II-① II-② II-③ II-④ III-① III-②	発言  ポートフォリオ
18	5. 職場体験 ・職場体験を通して働くことを実感する。 ・職場体験を通して「働く理由」を考える。 ・出されたミッションに対して考えたことを発表、実践する。 ・毎日就業後に振り返りを行い、その日の学びを記録する。	I-① III-① III-② III-③	ポートフォリオ
2	6. 振り返り① ・各事業所でミッションに向けた活動を振り返り、身についた力を自己評価する。	III-③	ポートフォリオ  ワークシート

3 (本時3/3)	<p>7. 振り返り②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験中の経験から見つけた働く理由を各事業所でまとめる。</li> <li>・まとめたものを他の事業所と共有し、働く理由は多様にあることを知る。</li> <li>・自分の事業所でも他の事業所で見つけた働く理由があることに気づく。</li> <li>・たくさんの働く理由の中から現時点で大切にしたい働く理由を記入し、他の学習や自己の生活に生かす。</li> </ul>	<p>I-① I-③ II-③</p>	<p>発言  ワークシート</p>
4	<p>8. 振り返り③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の方から生徒の職場体験前と職場体験中の評価をもらい、自己の成長を実感する。</li> <li>・事業所の方の働く理由を聞き、その多様性に気づく。</li> <li>・事業所の方に評価をもらった後、もう一度、自己評価を行い、評価をより正確なものにする。</li> </ul>	<p>I-① I-③ III-③</p>	<p>発言  ワークシート</p>
5	<p>9. 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験活動を振り返り、深まった働く理由や、身についた力をもとにこれからどのように生きたいかワークシートにまとめる。</li> <li>・ワークシートにまとめたことを事業所の方、保護者の方、他の生徒、2年生を相手にポスターセッションで発表する。</li> <li>・発表後は事業所の方からフィードバックをもらい、これからの生き方についてより考えを深める。</li> </ul>	<p>II-④ III-③</p>	<p>発言  ワークシート 発言</p>
2	<p>10. お礼状作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間で身についた力を再確認するとともに、事業所の方にお礼状を作り、感謝の気持ちを伝える。</li> </ul>	<p>I-① I-③ III-③</p>	<p>発言  ワークシート</p>

8. 本時の学習

(1). 本時のねらい

- ・実体験を踏まえた働く理由の共有を通して、働くことについての考えを深めることができる。

(思考・判断・表現)

(2). 展開

学習の流れと予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (・) と支援 (◎) と評価 (◇)
<p>1. 本時のねらいを確認する。【3分】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     ねらい「新たな働く理由を見つけよう。」                 </div> <p>前時の振り返りと今日することを確認する。</p>	<p>・班編成を黒板に提示する。</p> <p>・本時の流れとねらいを伝える。</p>
<p>2. 異なる事業所ごとに集まった班を4つ作り、働く理由を見て気になることを質問しあう。 (異なる事業所班)【20分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やりがいを感じた」とはどのような場面からそう思ったのですか。</li> <li>・これは自分が販売の仕事を終えた時に感じたので書きました。</li> <li>・自分の得意なことを発揮して働いている場面がありました。だから「自分の得意なことを生かす」ために働いていると書きました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような体験から見つけたのか次の活動に移った時に説明できるまで質問し続けて良いことを伝える。</li> <li>・一つの事業所あたり4分間ずつ教師が計る。</li> </ul>
<p>4. 同じ事業所同士の班に戻り、他の事業所が見つけた働く理由のうち、自分たちの体験からも見つけられるものを探し、新たに付け加える (同じ事業所班)【15分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと一緒に遊ぶことは「自分の得意なことを生かす」というのも当てはまりそうだな。</li> <li>・人のためというのが浮かんでいたが、自分の成長という理由も書き加えられそうだ。</li> <li>・ここには町のためというのが入ってきそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の事業所の人が見つけた働く理由をそのまま抜き出すのではなく、その視点や考えを、自分の事業所に置き換えることで新たに発見したのもでも良いことを伝える。</li> <li>◎関係しているものが見つけられない班には教師が体験中のことを質問しながら関係があることを見つけていく。</li> <li>・新しく付け加えたものの中から一つだけ他の事業所に発表することを伝える。</li> </ul>
<p>5. 他の事業所と共有したことで新たに付け加わった働く理由について一つ発表する。【5分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後鳥羽上皇について広めることから「自分の得意なことを生かすため」や「お客さんのため」という働く理由が見つかったが、「地域の活性化のため」ということが新たに見つけられました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて聞き返したり質問したりして具体的に発表させる。</li> </ul>
<p>6. 本時を振り返り、新たにわかったことや感じた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時、事業所の方がどのような働く理由を持つ</li> </ul>

<p>ことと、現時点で自分が大切にしたい働く理由と選んだわけを記述する。</p> <p>その後、発表する。【7分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな働く理由が見つかってよかった。</li> <li>・人のために自分のためになっていることがわかった。</li> <li>・町や地域のためということを考えつかなかったのを知ることができてよかった。</li> <li>・現時点で大切にしたい働く理由は自分の得意なことを生かすため。理由は自分も将来、得意なことを生かした働きをしたいと思ったから。</li> </ul>	<p>ているか聞くことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く理由は数えきれない程あり、経験によって見つかっていたり、大切にしたいものが変わっていたりするものということを伝える。</li> </ul> <div data-bbox="823 376 1437 573" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>実体験を踏まえた働く理由の共有を通して、働くことについての考えを深めることができる。 【思考・判断・表現】</p> </div>
--	--

### (3) 本時の評価規準

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く理由の共有をもとに、自分の体験を振り返ることで、新たな働く理由やその関係性、特徴を判断したり、表現したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く理由の共有をもとに、自分の体験を振り返ることで、新たな働く理由を判断したり、表現したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな働く理由を判断したり表現したりすることができない。</li> </ul> <p>→他の事業所で見つけた働く理由を整理し、職場体験中に同じ理由で働いていたと考えられる場面がなかったか具体的な例を教師が挙げながら考えさせる。</p>

### 授業の視点

- (1) 異なる事業所班での対話を取り入れたことは、各事業所が新たな理由を発見するのに有効であったか
- (2) ワークシートの活用はグループでの対話を引き出すのに有効であったか